

風の子

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/ogu/>



心を動かし、話を楽しむ

副園長 立石 晃子

教育目標

- 元気で明るい子
- よく考え、すすんで行動する子
- 思いやりのある子

もうすぐ立春を迎えるというのに、なかなか冬将軍が日本列島から離れられないようで、寒い日が続いています。

1月16日(火)、全園児がバスに乗り、ブーク人形劇場に出掛けました。こちらは毎年伺っている場所で、幼児のサイズにあったこじんまりとした空間、木のベンチでの観劇です。今回は、五味太郎さんの「いっぽんばしわたる」「さる・るるる」を元にした「みにみに劇場」、「てぶくろを買いに」の物語を観劇しました。場内に音楽が流れ、アナウンスが始まり、会場が暗くなった途端、子供たちはすぐにお話の世界へと引き込まれていきました。登場人物のピンチに息をのんだり、楽しい言葉遊びを真似て繰り返したり・・・特に「てぶくろを買いに」では、子供たちは、お母さんきつねや子供のきつね、帽子屋さんの店主の気持ちになったりと、登場するキャラクターの気持ちをとともに体験し、はっとしたり、安心したりと、心を動かしている様子が表情から窺うことができました。次の日、保護者の方から、「とても楽しかったようで、『手が人間の手になってね・・・』などと家で話をしてくれました。」と伺いました。また、保育室では「さる・るるる」の言葉遊びが大流行でした。前日の観劇の感動が、幼児の生活を豊かにしていました。

今年度、本園では「話を楽しみ、豊かなイメージをもてる幼児の育成」をテーマに研究を続けてまいりました。毎日の保育の中での読み聞かせや「絵本セレクト」、保護者の皆様には毎週の絵本の貸し出しや「ぼかぼかタイム」等で、絵本に触れる機会をたくさん重ねたことで、子供たちは今まで以上に話を楽しむ姿が見られるようになりました。また、質を高めたこととして、保護者の方一人一人がぼかぼかタイムの際に、近隣の図書館に出向き、紙芝居や絵本を選んでくださったり、衣装を身に付けたり道具を用意したりして季節感や絵本の世界を具現化していただいたりといった、昨年度よりもさらに「子供たちのために」と工夫をしてぼかぼかタイムに臨んでくださっていたことがありました。こうした保護者・教員一人一人の工夫がより、話を楽しめる幼児を育てることにつながったと思います。

1月末には、東京藝術大学との連携「おぐようアート」で制作した絵本棚が設置され、わくわくする絵本コーナーとなりました。次年度も引き続き、子供たちのための絵本環境の工夫を続け、心を動かし、話を楽しむ幼児を育成していきます。

2月のねらい

《3歳 たんぽぽ組》

- ・寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ。
- ・自分なりの動きを出し、のびのびと表現することを楽しむ。

《4歳 うさぎ組》

- ・思いや考えを出し合いながら、友達と遊びや活動を進めることを楽しむ。
- ・友達と気持ちを合わせて一緒に表現する楽しさや、学級のみんなで取り組む楽しさやつながりを感じる。

《5歳 そら組》

- ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで遊びや生活を進める充実感を味わう。
- ・自分の成長を感じ、主体的に取り組み、就学への期待をもつ。

早春の光の中で遊ぶ 風の子たち！

<年少・たんぼぼ組>

風揚げでは、屋上や校庭で、体がぼかぼかするくらい思い切り走って楽しむことができ、「見ててね。」「いっぱいあがったよ。」と嬉しそうに伝えてくる姿が多くありました。

雪の日には、雪が降る園庭を見てキラキラ目を輝かせながら、「いっぱい降ってきた！」「外遊び行きたい！」と子供たち。「明日積もったら遊ぼうね。」と伝えると、「雪だるまを作りたい。」「雪合戦したい！」などと雪遊びしたい気持ちを抑えきれない様子でした。実際に雪を触ると「冷たい。」「溶けてきたー。」「見たときは、ふわふわしてると思ったけど、触ったらかたかった！」とたくさんの気付きがあり、東京ではなかなか味わえない体験ができました。

室内遊びでは、メモリーカードや絵あわせカードを、友達や教師と楽しむ姿が見られます。一方で、互いの思いの違いがあり、教師が仲立ちしながら互いの思いを受け止め、伝え方なども知らせているところです。今月も、友達同士で遊ぶ楽しさをもっと感じてもらえるように援助していきます。

<年中・うさぎ組>

冬休み明け、「上手に回せるようになったよ！」とこまを得意げに回したり、「先生見てね！」と縄跳びで遊んだり、できるようになったことを嬉しそうに知らせる姿が見られました。また、「冬休みに雪降ったよね！」「でも、東京ではあんまり降らないんだよね。」と話していた子供たちと雪の結晶をつくって冬の雰囲気を楽しんでいましたが、実際にたくさんの雪が降り積もった様子を見ることができ、「雪が降ってる！」「すごーい！」と大興奮。「つめたーい！」と言いつつも、大喜びで雪合戦や雪だるま作りなどの雪遊びを楽しみました。

最近では、みんなでピクニックごっこをすることを楽しんでいます。お面をかぶり動物になりきって動くことが大好きで、好きな遊びの中でも動物になって遊ぶ姿も見られます。

「もあつた方がいいよね！」と何がお話に必要なか考え、みんなでどのようなものにするか相談しながら作っています。一人一人の表現を認め、子供たちが学級のみんで一緒に活動する楽しさを味わいながら自信をもって取り組めるよう援助していきます。

<年長・そら組>

冬休みにご家庭で取り組んでいただいたことで、こま回しやなわとびに自信をもって取り組む姿や竹馬、けん玉などに挑戦する姿が見られるようになりました。「見て！回せたよ！」など、できるようになったことをうれしそうに友達に知らせ、「わあ、すごいわね！」と、一緒に友達が出来るようになったことを喜び合う姿が見られ、うれしく思っています。また、保護者の方に作っていただいた編み機での帽子作りも楽しんでいます。雪の日には、銀世界となった屋上で、大きな雪だるまやかまくら作りを友達と協力しあいながら作る姿も見られました。

保育園の年長児との交流を重ねたり、年中児に誕生会の司会を引き継いだりすることで、就学への意識も高まってきました。「もう少しで小学生！」という期待を受け止めながら、自分たちで遊びや生活を進める充実感を味わえるよう、援助していきます。

もう一度確かめてみましょう！

進級、進学を前に、お子様の生活習慣を見直してみましょう

- ・早寝、早起き、朝ご飯は食べていますか。箸を使って食べていますか。
- ・朝の身支度や着替えは一人でしていますか。
- ・ハンカチ・ティッシュは身に付けていますか。
- ・あいさつや「ありがとう」の言葉を自分から言っていますか。
- ・登園時間を守って登園できていますか。
- ・家族の一員として自分ができること（テーブルを拭く、新聞を取ってくるなど）を行っていますか。